

人権コラム 心、豊かに

◆ CSR（企業の社会的責任）

「企業（仕事）」にも人権に配慮した活動や取組が求められる『人権の世紀』。では、企業（仕事）と人権には、どのような関係があるのでしょうか。

企業が、ある生産活動を成し遂げ一定の利益を生み出すには、様々な人との関わり合いやつながりを切り離すことはできません。共に働く仲間はもちろん、消費者・利用者（顧客）、取引先の労働者、株主、地域住民など、多くの「人権」に配慮した行動がなければ、企業としての信頼を得ることは困難です。

そのような中、近年、国際社会では『CSR』（Corporate Social Responsibility）に対する関心が高まっています。CSR を日本語で表すと「企業の社会的責任」。その社会的責任には、環境対策、コンプライアンス(法令順守)、社会貢献、商品やサービスの安全性などと共に「人権尊重」が含まれています。

CSR に取り組むメリット、『人権の尊重によって、誰もが働きやすい職場環境が整備され、それは従業員の働く意欲の向上、ひいては生産性の向上にとつながる。→ 顧客情報などの適切な管理や、安全性の高い製品は顧客の安心感へとつながり、企業の評価を高める。→ 企業の評価の高まりは、株主や取引先などへのメリットにつながる。→ 企業の社会的信頼を高める。』このような好循環を組織の内外にもたらすという考えのもと、企業が人権を守ることは、企業の成長につながるとの観点から、人権はCSRの重要なキーワードとなっています。

いま、国内外の多くの企業でCSRの取組が行われ、企業によってはCSR専門の部署が設置されています。職場において、「人権」の重要性を共有し、「人権の視点」を持ち仕事に励む。そのことが、「人権の世紀」を築く、ひとつのきっかけになるはずです。

「広報ひた」 平成 29 年 1 月 1 日号掲載